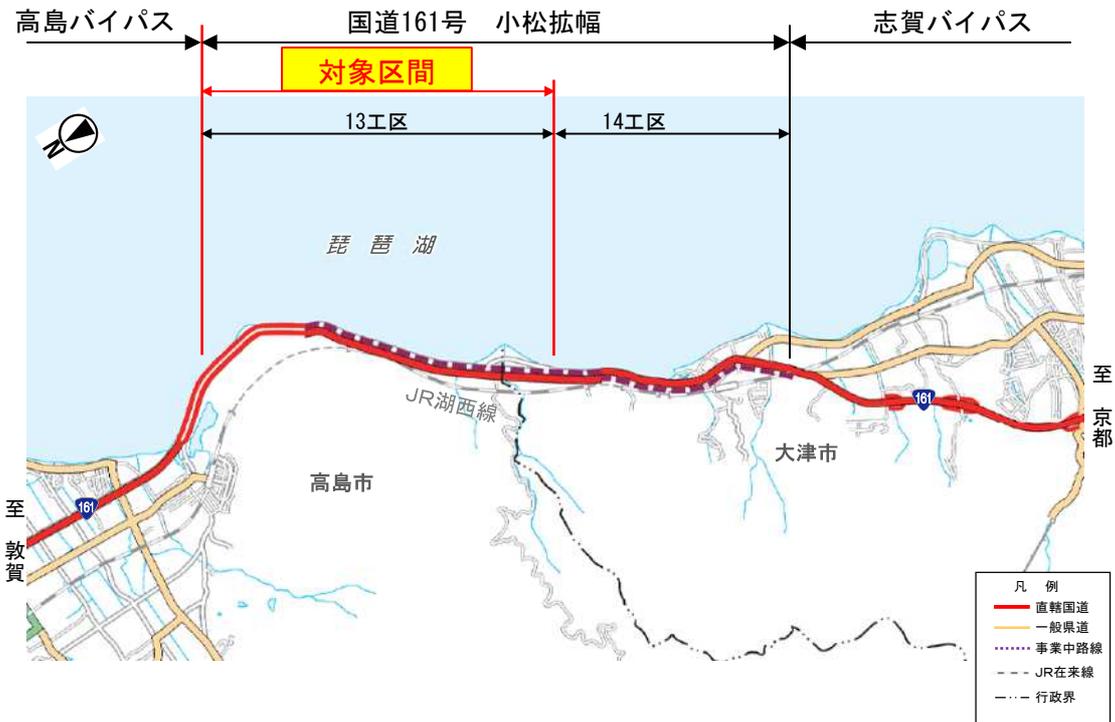


国道161号 小松拡幅13工区 事業の概要および環境影響評価の流れ

■事業の概要

国道161号 小松拡幅は、高島市勝野を起点とし大津市北小松を終点とする延長約6.3km・4車線の道路で、琵琶湖西岸地域の幹線道路ネットワークを強化し、地域の活性化を図るために計画されたものです。

本事業は、小松拡幅事業のうち、13工区の約4.3kmについて、環境影響評価を実施するものです。



■環境影響評価（環境アセスメント）とは

開発事業の内容を決めるに当たって、それが環境にどのような影響を及ぼすかについて、あらかじめ事業者自らが調査・予測・評価を行い、その結果を公表して一般の方々、地方公共団体などから意見を聴き、それらを踏まえて環境の保全の観点からよりよい事業計画を作り上げていこうという制度です。

■環境影響評価書とは

環境影響評価書とは、準備書についての住民意見や知事意見等を踏まえて、事業者が準備書の記載事項を修正して、環境影響評価の手続きを確定させていく図書です。

■環境影響評価の流れ

